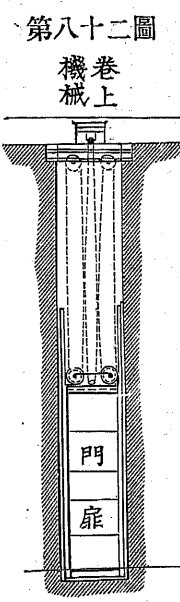


するものにして四角なる角材を兩側にある溝中に落とし水を遮るものにして水門は第八十一圖に示す如く中央の軸によりて廻轉する門扉あり又上下に曳上げ曳下す門扉あり。

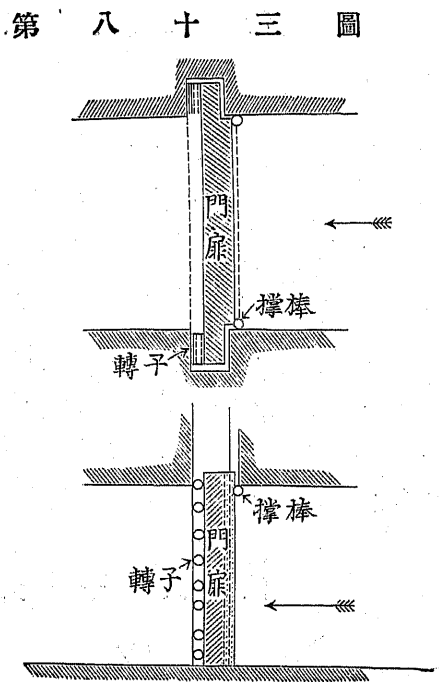


第八十二圖に示す如く繩若は鎖にて引上ぐるもの及螺線を廻轉し之によりて門扉を上下さすものあり。

門扉引上に要する力を減少する目的を以て轉子「ローラー」を附け平衡重を有するものあり又水漏を減ずる爲めに撐材あるものあり第八十三圖の如し「ストリート」門扉は此類なり

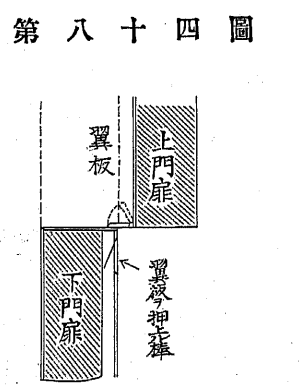
第八十四圖は門扉を上下二枚とせし場合なり、その間隙より水の流出するを防ぐために翼板を有するものなり。

水路取入口に於ては砂の流入するを防ぐ目的を以て水門の附近に砂吐口を設く、又水路の所々に深き所を作り砂吐門を設くることあり。



平面圖

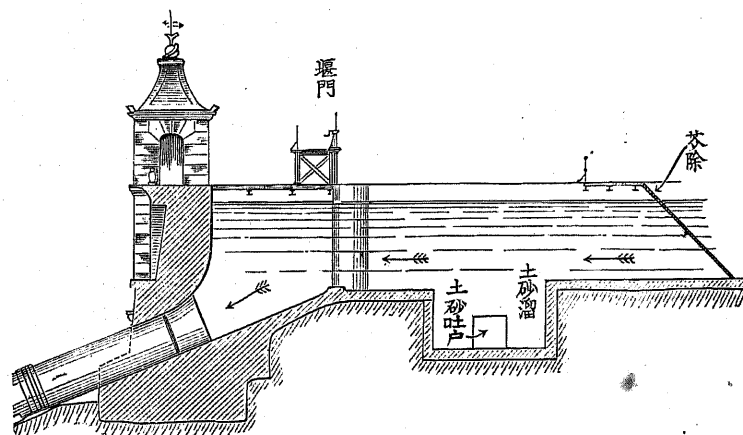
縦断面



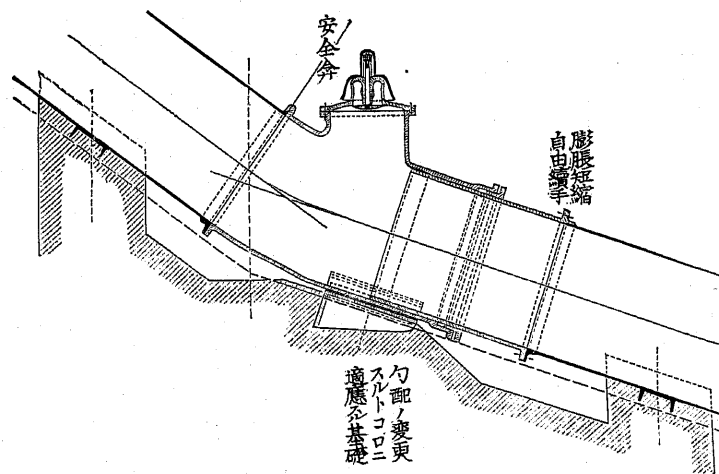
壓力水管 Penstock

第八十五圖は鐵管の取入口を示す、取入口の前面に堰門、土砂吐戸及芥除を必要とす其順序は必ずしも此圖の通りにするに及ばず。

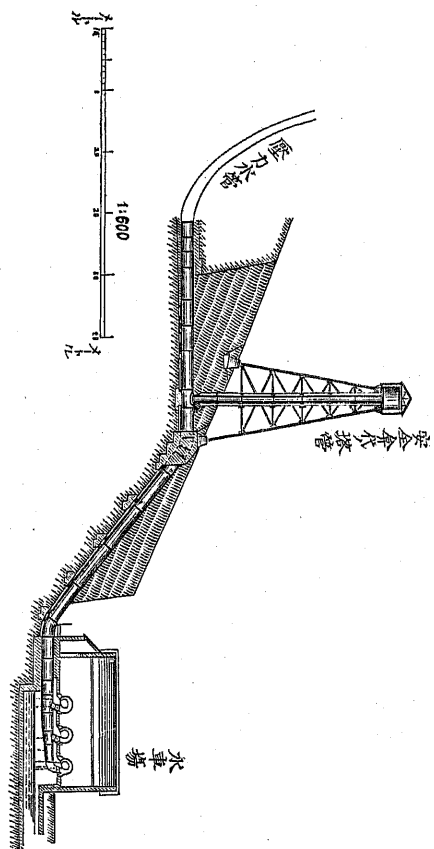
第八十五圖



第八十六圖



水車場に近き壓力水管に於ては安全弁を置くこと第八十六圖の如くするを好とす。



第八十七圖

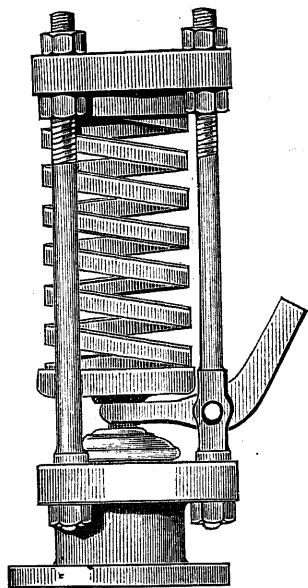
或る場合に急に開閉弁を閉づる時は一時水衝 Water ram を生じ非常に壓力を増大し鐵管を破壊することあり之を防がため Safety valve 安全弁又は第

壓力水管

八十七圖に示す如き Stand pipe 水塔管を設くるを要す。
水衝力は前に一平方時に 100「ポンド」と假定したれども一定のものにあらず流水の速度管の太さ、

管の長さ管の材質と開閉弁を閉づる時間とによるものにして委しきことを知らんと欲せば

第八十八圖
安全弁



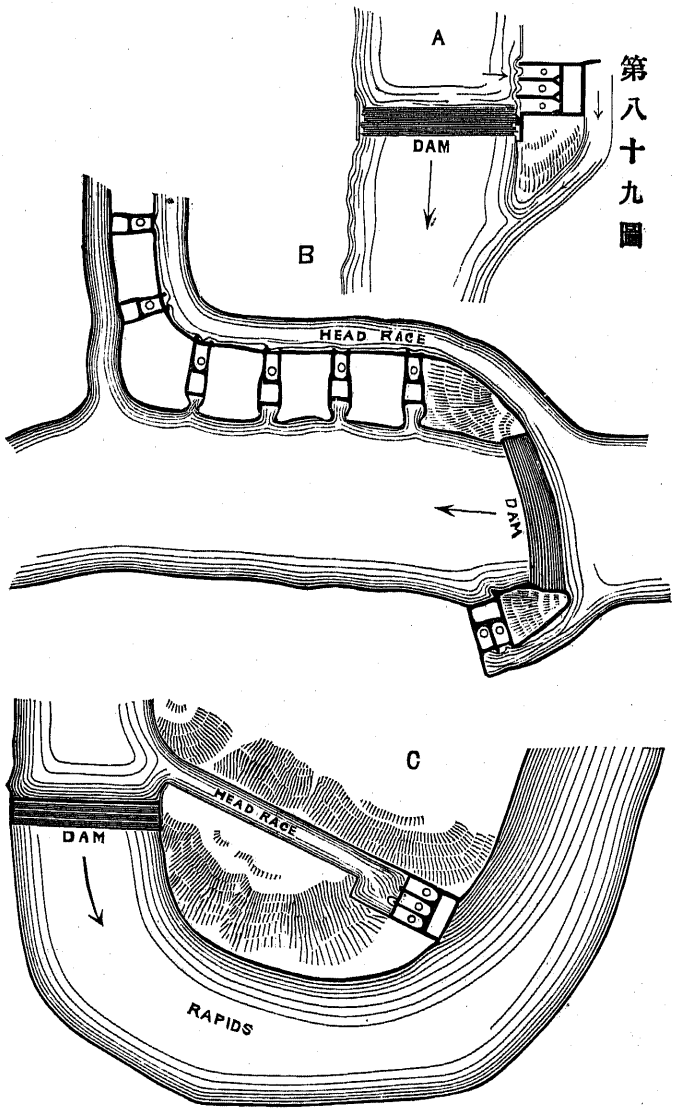
Gibson-Water ram in
hydraulic pipe line

Mead-Water power engineering (1908) p 446-468 を見るべし。

水車場

堰堤取入口、水車室等の配置は地形によりて種々あり、河川を切り堰堤を作り其傍に水車場を置くものは第八十九圖に示す如く。

第八十九圖



水路を作つて他に水を導き水車場を設置するものは第九十圖の如し。

水車場